

「量の見込み」の算出に向けた概要説明及び 木更津市の「量の見込み」について

令和元年 7 月

木更津市

I 教育・保育の「量の見込み」について

1.:

- 事業計画において「量の見込み」を定めることとされている。また、事業計画（事業計画書）ごとに、教育・保育及び地域事業の「量の見込み」（＝どのくらいの需要があるか）を設定し、それに対応する「確保方策」（＝いつ・どのくらい供給するか）を定める。

⇒木更津市の場合、市内のニーズに柔軟に対応できるよう、教育・保育の提供区域を1区域と設定します。

- 教育・保育については、以下の区分について、それぞれの「量の見込み」と「確保方策」を定めることとされている。

- | | | |
|---|---------------------|--------------|
| ① | 3号認定（0～2歳・保育の必要性あり） | うち0歳 |
| ② | 3号認定（0～2歳・保育の必要性あり） | うち1・2歳 |
| ③ | 2号認定（3～5歳・保育の必要性あり） | うち保育利用 |
| ④ | 2号認定（3～5歳・保育の必要性あり） | うち教育（幼稚園）利用※ |
| ⑤ | 1号認定（3～5歳・保育の必要性なし） | |

※「保育の必要性あり」の2号認定子どもについても、保護者の希望等に応じて幼稚園の利用が可能。

2. 「保育の必要性の認定における「就労時間の下限」について

- 新制度においては、教育・保育の提供にあたり、保護者の申請に基づき、市町村が「保育の必要性」を認定する。
(私学助成の幼稚園を利用する場合を除く。)

＜保育の必要性、保育の必要量＞

年齢	保育の 必要性	保育認定		保育利用可能時間 (1日当たり)	就労時間の下限
3～5歳	なし	1号認定	教育標準時間	－	－
	あり	2号認定	教育標準時間	11時間まで	月120時間
			保育短時間	8時間まで	月48～64時間
0～2歳	あり	3号認定	保育標準時間	11時間まで	月120時間
			保育短時間	8時間まで	月48～64時間

- 「保育短時間認定」を受けることができる「就労時間の下限」は、木更津市の場合、月64時間です。

3. 「量の見込み」の算出方法〔イメージ〕

Step1 調査結果から“現在家庭類型”を算出する

ひとり親や保護者の就労状況によって、国から示されたタイプ分類毎の量を算出する。

タイプ	父母の有無や就労状況	タイプ	父母の有無や就労状況
A	ひとり親家庭	D	専業主婦（夫）
B	フルタイム×フルタイム	E	パートタイム×パートタイム
C	フルタイム×パートタイム	E'	パートタイム×パートタイム（短時間就労等の条件あり）
C'	フルタイム×パートタイム（短時間就労等の条件あり）	F	無業×無業

Step2 母親の就労意向から“潜在家庭類型”を算出す

母親で、現在パートタイムの人がフルタイム就労する予定があるのか、無業の人がフルタイムまたはパートタイムで就労する予定があるのかの意向によって、近い将来の“潜在”家庭類型を算出する。

例1〕現在専業主婦となっているが、パートタイム就労の意向がある
→ タイプD⇒タイプC

例2〕現在フルタイムとパートタイムだが、両親ともフルタイムになる

Step3 潜在家庭類型の事業利用意向を算出する

年齢別・潜在家庭類型別に、幼稚園・保育所・認定こども園など、どの教育・保育事業を利用したいと回答（利用意向割合）しているか算出する。

Step4 将来児童数を推計する

計画期間中（令和2年度～令和6年度）における対象児童数の推計を行う。対象児童は0歳から11歳（小学6年生）までを予定。



Step5 “認定区分”ごとのニーズ量を算出する（１）

認定区分とは…

子ども子育て支援制度に基づく教育・保育事業を利用するにあたっては、３区分からなる認定を市町村から受ける必要がある。

	1号	2号	3号
対象年齢	満3歳以上の 小学校就学前の子ども		満3歳未満の 小学校就学前の子ども
対象条件	2号認定のこども以外	保護者の就労又は疾病その他の内閣府令で定める事由により 家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの	
利用定員を設定可能な施設	幼稚園・認定こども園	保育所・認定こども園	

■家庭類型と認定区分の関係

家庭類型	0～2歳	3～5歳
タイプA [ひとり親家庭]	3号	2号
タイプB [フルタイム×フルタイム]	3号	2号
タイプC [フルタイム×パートタイム]	3号	2号
タイプC' [フルタイム×パートタイム（短時間就労等）]	（認定なし）	1号
タイプD [専業主婦（夫）]	（認定なし）	1号
タイプE [パートタイム×パートタイム]	3号	2号
タイプE' [パートタイム×パートタイム（短時間就労等）]	（認定なし）	1号
タイプF [無業×無業]	（認定なし）	1号

※3～5歳のタイプA、B、C、Eは、2号認定を受けても幼稚園（学校教育）の利用希望が強い場合は、1号認定への変更が可



Step5 “認定区分” ごとのニーズ量を算出する（2）

- ① “Step4” で算出した推計児童数に “Step2” の潜在家庭類型の割合を掛け合わせて、将来予想される家庭類型を算出する。
（0歳、1・2歳、3～5歳の年齢別で行う）
- ↓
- ② “①” で算出した年齢別・家庭類型別の将来児童数に、“Step3” で算出した利用割合を掛け合わせることで、認定区分ごとのニーズ量を算出する。

■例）平成27年度の3～5歳児童のニーズ量（数値はダミーです）

（1）アンケート結果より → （2）推計児童数 → （3）家庭類型別児童数 → （4）認定区分に再編 → （5）利用割合 → （6）ニーズ量

	現在	潜在	令和2年度 (3～5歳)	令和2年度 家庭類型別児童数		区分	家庭類型	推計 児童 数	教育・保 育 利用意向	事業量見込み	
	割合	割合									
タイプA	5.0%	5.0%	×	10,000人	=	1号認定	タイプC´	1,250	90%	1,125	4,915
タイプB	20.0%	25.0%					タイプD	4,000	90%	3,600	
タイプC	10.0%	12.50%					タイプE´	200	70%	140	
タイプC´	10.0%	12.50%					タイプF	100	50%	50	
タイプD	50.0%	40.0%				2号認定	タイプA	500	90%	450	3,840
タイプE	2.0%	2.0%					タイプB	2,500	90%	2,250	
タイプE´	2.0%	2.0%					タイプC	1,250	80%	1,000	
タイプF	1.0%	1.0%					タイプE	200	70%	140	

4. 木更津市の「量の見込み」の基礎数値の算出

(1) 計画期間における年齢各歳別推計人口

下記の推計人口は、本市総合計画（第2次基本計画）の将来人口の数値を元に推計しました。

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
0歳	1,035	1,029	1,017	1,010	996
1歳	1,046	1,075	1,067	1,056	1,040
2歳	1,111	1,067	1,094	1,087	1,067
3歳	1,133	1,128	1,082	1,110	1,093
4歳	1,170	1,152	1,144	1,097	1,118
5歳	1,152	1,153	1,144	1,144	1,116
6歳	1,221	1,164	1,176	1,162	1,175
7歳	1,215	1,232	1,185	1,193	1,193
8歳	1,258	1,226	1,255	1,203	1,225
9歳	1,230	1,268	1,248	1,273	1,233
10歳	1,271	1,281	1,314	1,268	1,283
11歳	1,303	1,276	1,285	1,313	1,277

(2) 調査結果から算出された就学前児童(0～5歳)の「家庭類型(現在と潜在)」の数値

下記数値の中で、潜在家庭類型の割合(構成比)がニーズ量算出の基本となります。

潜在的な家庭類型とは、「母親の就労状況の変化(意向)」に着目し、近い将来にどの家庭類型に移行するかを推測した家庭分類のことです。

潜在的な量が増加
潜在的な量が減少

【合計】

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
A	51	8.5%	51	8.5%
B	158	26.3%	177	29.5%
C	83	13.8%	82	13.6%
C'	72	12.0%	93	15.5%
D	235	39.1%	196	32.6%
E	0	0.0%	0	0.0%
E'	1	0.2%	1	0.2%
F	1	0.2%	1	0.2%
全体	601	100.0%	601	100.0%

【0歳】

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
A	10	7.4%	10	7.4%
B	52	38.2%	56	41.2%
C	9	6.6%	11	8.1%
C'	7	5.1%	8	5.9%
D	58	42.6%	51	37.5%
E	0	0.0%	0	0.0%
E'	0	0.0%	0	0.0%
F	0	0.0%	0	0.0%
全体	136	100.0%	136	100.0%

【1・2歳】

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
A	12	6.8%	12	6.8%
B	42	23.9%	50	28.4%
C	29	16.5%	27	15.3%
C'	10	5.7%	19	10.8%
D	83	47.2%	68	38.6%
E	0	0.0%	0	0.0%
E'	0	0.0%	0	0.0%
F	0	0.0%	0	0.0%
全体	176	100.0%	176	100.0%

【3歳以上】

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
A	29	10.0%	29	10.0%
B	64	22.1%	71	24.6%
C	45	15.6%	44	15.2%
C'	55	19.0%	66	22.8%
D	94	32.5%	77	26.6%
E	0	0.0%	0	0.0%
E'	1	0.3%	1	0.3%
F	1	0.3%	1	0.3%
全体	289	100.0%	289	100.0%

（４）第２期計画における就学前児童（０－５歳）の「教育・保育」の量の見込み

			令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
1号	3-5歳	教育	1,960	1,503	1,974	1,520	1,938	1,492	1,927	1,484	1,913	1,473
2号	3-5歳	教育		457								
		保育	2,748	1,264	2,729	1,256	2,710	1,233	2,690	1,226	2,659	1,217
3号	0歳	保育		518								
	1-2歳	保育		966								

(参考)第1期の見込み量

			平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年/令和元年度	
1号	3-5歳	教育	2,447	2,157	2,490	2,195	2,460	2,169	2,410	2,125	2,241	1,976
2号	3-5歳	教育		290								
		保育	1,826	1,069	1,806	1,087	1,770	1,075	1,725	1,053	1,648	980
3号	0歳	保育		182								
	1-2歳	保育		575								

(参考)第1期の確保量と実績値

確認を受けない幼稚園	確保量	1号教育	2,447	2,157	2,490	2,195	2,460	2,169	2,410	2,125	2,241	1,976
		2号教育		290								
	実績値	1号教育	2,280	2,280	2,205	2,205	2,230	2,230	2,178	2,178	2,057	2,057
		2号教育										
保育所 (施設型給付)	確保量	2号保育	1,645	1,018	1,645	1,018	1,645	1,018	1,645	1,018	1,645	1,018
		3号0歳保育		121								
		3号1-2歳保育		506								
	実績値	2号保育	1,615	1,053	1,659	1,053	1,732	1,098	1,777	1,122	1,814	1,134
		3号0歳保育		126								
		3号1-2歳保育		436								

※以上の見込み量と実績値等を比較検討した上で、確保策の量を算出していきます（以下同様）。

Ⅱ 地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」について

※下記は、調査によるニーズ量算出に関わる事業のみ

1. 延長保育事業(時間外保育事業)

- 保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加等に伴う延長保育の必要性に対応するため、保育園で通常の保育時間を延長して保育を実施する事業です。木更津市の場合、17時以降を希望する方の割合を算出しました。

項目	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
第2期の量の見込み	人/年	1,509	1,499	1,487	1,476	1,460

(参考)第1期の量の見込みと確保量、実績値

項目		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用量	計画見込み量	人/年	719	719	719	719	719
	計画提供(確保)量		719	719	719	719	719
	実績値		850	993	1,071	1,193	

※実績値の空欄部分は、後日記載予定。

2. 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

- 保護者が就労等により、昼間家庭にいない小学生を対象に、授業の終了後に適切な遊び場や生活の場を提供する放課後児童クラブへの運営を支援する事業です。

項目		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
第2期の 量の見込み	低学年	人/年	1,142	1,119	1,118	1,100	1,110
	高学年		884	889	894	896	882

(参考)第1期の量の見込みと確保量、実績値

項目		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全体利用量	計画見込み量	人/年	1,037	1,055	1,097	1,115	1,142
低学年 利用量	計画提供(確保)量		839	853	887	902	924
	実績値		786	839	853	928	943
高学年 利用量	計画提供(確保)量		201	207	213	218	226
	実績値		233	304	330	380	397

3. ショートステイ事業(子育て短期支援事業)

- 保護者が病気や出産、出張などのため、子どもの養育が一時的に困難になった場合に短期間預かる事業です。本事業は、調査において若干の利用意向はありましたが、利用意向日数が無記載または「ゼロ」であったことから、結果として量の見込みは「ゼロ」となりました。

項目	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
第2期の量の見込み	人日/年	0	0	0	0	0

(参考)第1期の量の見込みと確保量、実績値

項目		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用量	計画見込み量	人日/年	102	102	102	102	102
	計画提供(確保)量		102	102	102	102	102
	実績値		13	33	36	6	

※実績値の空欄部分は、後日記載予定。

4. 地域子育て支援拠点事業

- 子育てを行う環境が大きく変化する中で、家庭や地域における子育て機能の低下、子育て中の保護者の孤立や悩み等に対応するため、子育て親子の交流等の場の提供や、子育て等に関する相談や援助の実施、子育て関連情報の提供や講習等を実施する事業です。

項目	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
第2期の量の見込み	人回/月	6,898	6,851	6,868	6,811	6,704

(参考)第1期の量の見込みと確保量、実績値

項目		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用量	計画見込み量	人回/月	19,849	19,849	19,849	19,849	19,849
	計画提供(確保)量		19,849	19,849	19,849	19,849	19,849
	実績値		3,013	2,989	3,073	3,431	

※実績値の空欄部分は、後日記載予定。

5. 幼稚園での預かり保育(一時預かり)

- 幼稚園の教育時間終了後に、保護者の希望に応じて時間を延長して教育活動を行う預かり保育を、市内の全幼稚園で実施する事業です。

項目		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
第2期の 量の見込み	1号見込み量	人日/年	21,529	21,390	21,002	20,883	20,732
	2号見込み量		106,102	105,418	103,504	102,915	102,175

(参考)第1期の見込み量と確保量、実績値

項目		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用量	1号見込み量	人日/年	0	0	0	0	0
	2号見込み量		0	0	0	0	0
	計画提供(確保)量		0	0	0	0	0
	実績値						

※第1期計画の策定時は、市内幼稚園が子育て支援制度に未移行の私立幼稚園のみであり、見込み量が把握できなかったことから、「0」と表記しました。第2期計画では、幼児教育・保育無償化、新制度への移行園及び認定こども園への移行等により実態を把握できるようになるため、見込み量にそった計画を策定していきます。

6. 幼稚園以外の一時預かり

- 保護者の就労や疾病その他の理由等による場合や、保護者の入院等 による緊急 時等に一時的に保育を必要とする子どもを対象に、地域子育て支援センターや保育園等で一時預かりを実施する事業です。

項目	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
第2期の量の見込み	人日/年	10,177	10,109	10,025	9,955	9,842

(参考)第1期の量の見込みと確保量、実績値

項目			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全体利用量		計画見込み量	人日/年	13,024	13,024	13,024	13,024	13,024
一時預かり (幼稚園以外)	利用量	計画提供(確保)量		1,989	1,989	1,989	1,989	1,989
		実績値		10,619	10,811	11,118	10,519	
ファミリー・サポート・センター (病児病後児以外)	利用量	計画提供(確保)量	人日/年	-	-	-	-	-
		実績値		-	-	-	344	
子育て短期支援事業 (トワイライトステイ)	利用量	計画提供(確保)量	人日/年	9	9	9	9	9
		実績値		0	1	0	0	

※実績値の空欄部分は、後日記載予定。

7. 病児・病後児保育

- 子どもが病気回復期や軽い病気の状態にあるため、保育園等への登園ができない場合や、保護者の就労や疾病その他の理由等により家庭で看護することができない場合に、子どもを保育する事業です。「病児保育」については、木更津市では現在のところ、市内に対応施設がない状態となっています。

項目	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
第2期の量の見込み	人日/年	2,771	2,752	2,730	2,711	2,680

(参考)第1期の量の見込みと確保量、実績値

項目		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全体利用量		計画見込み量	1,068	1,068	1,068	1,068	1,068
病児病後児保育	利用量	計画提供(確保)量	1,068	1,068	1,068	1,068	1,068
		実績値	624	682	564	610	
ファミリー・サポート・センター (病児病後児利用)	利用量	計画提供(確保)量	-	-	-	-	-
		実績値	-	-	-	-	-

※実績値の空欄部分は、後日記載予定。

8. 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)／小学生児童のみ

- 小学生の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

項目		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
第2期の量の 見込み	全体	人日/年	831	828	824	822	821
	低学年		543	538	532	528	524
	高学年		288	290	292	294	297

(参考)第1期の量の見込みと確保量、実績値

項目		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
全体利用量	計画見込み量	人日/年	7,350	7,395	7,570	7,637	7,827
低学年 利用量	計画提供(確保)量		5,145	5,176	5,299	5,345	5,478
	実績値		－	－	－	84	
高学年 利用量	計画提供(確保)量		2,205	2,219	2,271	2,292	2,349
	実績値		－	－	－	25	

※実績値の空欄部分は、後日記載予定。